

## 製品安全データシート

### 1. 製品および製造会社情報

製品名 マイルドクール SCL(平和テクニカ商品名称:ファインクール 21)  
 会社名 アルベス株式会社  
 住所 〒541-0051 大阪府中央区備後町2丁目1-8  
 担当部署 大阪化成部品  
 電話番号 06-6203-6925 FAX番号 06-6223-1670  
 緊急連絡先 新日本理化株式会社 技術開発部 アルベス株式会社 技術担当  
 電話番号 075-623-3085 FAX番号 075-623-3045  
 整理番号 MC-003



### 2. 危険有毒性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分外

健康に対する有害性

皮膚腐食性・刺激性 : 区分2

眼に対する重篤な損傷・刺激性 : 区分1

呼吸器感作性 : 区分1

皮膚感作性 : 区分1

特定標的臓器／全身毒性(単回ばく露) : 区分1 (肝臓)

特定標的臓器／全身毒性(反復ばく露) : 区分2 (神経系、血液、腎臓、肝臓)

環境に対する有害性

水生環境有害性(急性) : 区分3

注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

- ・皮膚刺激
- ・アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- ・水生生物に有害
- ・吸入するとアレルギー、喘息または、呼吸困難を起こすおそれ
- ・長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害のおそれ
- ・重篤な目の損傷
- ・臓器の障害

注意書き

【安全対策】

- ・他の容器に移し替えないこと
- ・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと
- ・取扱後は、手をよく洗うこと
- ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと
- ・汚染された作業衣は作業場から出さないこと
- ・環境への放出を避けること
- ・保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること
- ・換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること

**【応急処置】**

- ・気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること
- ・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること
- ・物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること
- ・飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと
- ・皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと
- ・吸入した張合：呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗う。コンタクトを着用し容易に外せる時は外す。後も洗浄を続ける
- ・皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること
- ・眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること
- ・呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること

**【保管】**

- ・換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと

**【廃棄】**

- ・内容物／容器を関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切に廃棄すること

(注)物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し、上記以外の項目は、現時点で「分類対象外」、「分類できない」または、「区分外」です。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

成分		有機アミン	有機酸	防腐剤	その他成分	水
含有量		20～30%	5～10%	1～5%	1～10%	55～65%
化学特性		C4H11N02 C6H15N03	非公開	非公開	非公開	
官報公示整理番号	化審法	2-302 2-308	既存	既存	既存	
MSDS 対象物質 (政令番号)	PRTR 法	対象外	対象外	対象外	対象外	
	安衛法(57 条-2)	9-219,9-381	対象外	対象外	対象外	
	毒・劇物取締法	対象外	対象外	対象外	対象外	
CAS No.		111-42-2 102-71-6	記載	記載	---	
TSCA		収載	収載	収載	---	
EINECS No.		2038680 2030498	記載	記載	---	

4. 応急処置

吸入した場合

: 新鮮な空気の場合に移動させ安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

: 水または微温湯を流しながら石鹼でよく洗浄する。炎症等の症状がでた場合には必要に応じて医師の診断を受ける。  
衣服、靴および靴下等にかかっている時は、清浄な衣服等に替える。

目に入った場合

: この製品が目に入った場合、目をこすってはならない。一刻も早く洗浄を始め、入った製品を完全に洗い流す必要がある。  
洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。  
目に異物感や痛みの残るときは眼科医の手当てを受ける。  
コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り取り除いて洗浄を続ける。

飲み込んだ場合	:水でよく口の中を洗浄する。水を飲ませ、誤飲した胃中のものをうすめるか、可能であれば吐き出させる。但し、被災者に意識が無い場合には、口から何も与えてはならないし、吐かせてもいけない。様子がおかしい時は、医師の手当てを受ける。
5. 火災時の措置	
適切な消火剤	:水、二酸化炭素、粉末消火薬剤、泡消火薬剤。
特定の消火方法	:本品そのものは引火性はないが、水分が蒸発後は過熱すれば引火の可能性がある。 容器周辺が火災の時は、容器を安全な場所に移動する。移動できない時は、容器に注水して冷却する。 消火のための放水等により、環境に影響をおよぼす物質が流出しないよう適切な処置をする。
消火を行う者の保護 (保護具等)	:消火作業では、適切な保護具(空気呼吸器、化学用保護衣)を着用し、可能な限り風上から行う。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項	:作業の際には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用し、飛沫が皮膚に付着したり、蒸気やミストを吸入しないようにする。 こぼれた場所は滑りやすいために注意する。
環境に対する注意事項	:容器が破損して液が漏れている場合は、破損箇所を上にして屋外に移した後、内容物を完全な容器に移す。 屋内にこぼれた場合は直ちにウエス、雑巾等で拭き取る。 漏出した製品および洗浄排水が、公共の下水、河川および海域等に直接流出しないよう注意する。
除去方法	:少量の場合は、吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸着させ取除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。 大量の場合には、土砂等(の不燃物)で囲って流出を防止し、スcoopまたは吸引機等で空容器に回収する。
7. 取扱いおよび保管上の注意	
取扱い	
安全取扱い注意事項	:皮膚、粘膜または着衣に触れたり、日に入らないようにする。 漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。 口で液を吸い上げるようなこと(サイホン)はしない。 保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。 取り扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
保管	
保管条件	:直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管する。
安全な容器包装材料	:耐アルカリ性容器または内面ポリマーコーティングした容器。
8. 暴露防止および保護措置	
設備対策	:蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、目の洗浄および身体洗浄のための設備を設置する。
管理濃度	:設定されていない。
許容濃度	:日本産業衛生学会;設定されていない。 ACGIH;設定されていない。
保護具	
呼吸器の保護具	:必要により有機ガス用防毒マスク
手の保護具	:不浸透性保護手袋

目の保護具 :保護眼鏡(側板付き普通眼鏡型または必要によりゴーグル型)  
皮膚および身体の保護具:長袖作業着、安全靴、保護前掛け

## 9. 物理的および化学的性質

### 物理的状态

形状 :液体  
色 :黄色透明  
臭い :弱いアミン臭  
pH(20 倍希釈) :9.5  
水に対する溶解性 :可溶

### 物理的危険性のデータ

引火点 :なし  
発火点 :なし  
可燃性 :水が蒸発し、固形分のみになれば可燃性となる。

## 10. 安定性および反応性

安定性 :通常(常温)の取扱いおよび貯蔵条件において安定。  
反応性 :他の強酸の混入により副分解反応を起こす。  
避けるべき条件 :過熱・高温  
避けるべき物質 :ハロゲン類、強酸類、強酸化物質、強塩基類

## 11. 有害性情報

引火性液体 :混合物は水が蒸発するまで引火点を示さないため、区分外とした。  
急性毒性  
経口 :本製品そのものの測定データはない。  
混合物の急性毒性推定値が5,000mg/kgを越えるため、区分外とした。  
経皮 :本製品そのものの測定データはない。  
混合物の急性毒性推定値が5,000mg/kgを越えるため、区分外とした。  
吸入 :本製品そのものの測定データはなく、分類できない。  
皮膚腐食性/刺激性 :本製品そのものの測定データはない。  
混合物は加成性の適用できない区分2の皮膚腐食性成分を3%以上含むことから、区分2とした。  
眼に対する重篤な損傷/刺激性:本製品そのものの判定データはない。  
混合物は区分1の眼損傷性成分を1%以上含むことから、区分1とした。  
呼吸器感作性 :本製品そのものの測定データはない。  
混合物は区分1の呼吸器感作性物質を0.1%以上含むことから、区分1とした。  
皮膚感作性 :本製品そのものの測定データはない。  
混合物は区分1の皮膚感作性物質を0.1%以上含むことから、区分1とした。  
生殖細胞変異原性 :本製品そのものの測定データはなく、分類できない。  
発がん性 :本製品そのものの測定データはなく、分類できない。  
生殖毒性 :本製品そのものの測定データはなく、分類できない。  
特定標的臓器・全身毒性  
単回暴露 :本製品そのものの測定データはない。  
混合物は区分1物質を1%以上含むことから、区分1とした。  
反復暴露 :本製品そのものの測定データはない。  
混合物は区分2物質を1%以上含むことから、区分2とした。  
吸引性呼吸器有害性 :本製品そのものの測定データはなく、分類できない。

## 12. 環境影響情報

環境に対する有害性

水生環境急性有害性

:本製品そのものの測定データはない。  
混合物の区分2成分の含有率の10倍と区分3成分の含有率の合計が25%を越えることから、区分3とした。

水生環境慢性有害性

:本製品そのものの測定データはなく、分類できない。

分解性

:データなし

蓄積性

:データなし

魚毒性

:データなし

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

:廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。  
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。

本製品を含む廃液並びに洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することは避ける。

廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。

汚染容器・包装

:容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

## 14. 輸送上の注意

国内法規制

:特段の規制はない。

国連分類および国連番号

:国連勧告の定義上危険物に該当しない。

輸送の特定の安全対策および条件

:直射日光を避け、30°C以下で輸送する。輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。

## 15. 適用法令

消防法

:非危険物

労働安全衛生法

:法57条2の通知対象物質を含有。施行令第18条の2別表第9  
(ジエタノールアミン 10~20% 政令番号:219)  
(トリエタノールアミン 1~10% 政令番号:381)

化学物質管理促進法

:対象物質を含有しない。

毒・劇物取締法

:対象物質を含有しない。

廃棄物の処理および清掃に関する法律

## 16. その他の情報

記載内容の問合せ先

:アルベス株式会社 大阪化成品部

電話番号:06-6203-6925 FAX 番号:06-6223-1670

引用文献

1) 産業中毒便覧 医歯薬出版(株)(S52,10)

2) 化学物質管理促進法対象物質全データ 化学工業日報社

3) 原料メーカーのMSDS

4) ezCRIC 化学品簡易法規制チェック(2008年版) 日本ケミカルデータベ  
ース(株)

企業秘密保持のため PRTR、労働安全衛生法および毒・劇物取締法に該当しない物質の化学名、化学式または構造式、化審法整理番号、CASNo.等を明記しない場合があります。  
また、物質の含有量についても同様の理由により一定の範囲幅で表示、または非公開とさせていただくことがありますのでご了解ください。

この情報は新しい知見に基づいて改訂されることがあります。記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。  
また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものですので、特別な手扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上お取扱いください。